

## シラバス

指定番号 21

商号又は名称：社会福祉法人 南海福祉事業会

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	3		<p>(1) 介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手のコミュニケーション能力に対する理解や配慮</li> <li>傾聴 ・ 共感の応答</li> </ul> <p>(2) コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言語的コミュニケーションの特徴</li> <li>非言語コミュニケーションの特徴</li> </ul> <p>(3) 利用者・家族とのコミュニケーションの実際</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の思いを把握する ・ 意欲低下の要因を考える</li> <li>利用者の感情に共感する ・ 家族の心理的理解</li> <li>家族へのいたわりと励まし ・ 信頼関係の形成</li> <li>自分の価値観で家族の意向を判断し非難することがないようにする</li> <li>アセスメントの手法とニーズとデマンドの違い</li> </ul> <p>(4) 利用者の状況・状況に応じたコミュニケーション技術の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>視力、聴力の障がいに応じたコミュニケーション技術</li> <li>失語症に応じたコミュニケーション技術</li> <li>構音障がいに応じたコミュニケーション技術、</li> <li>認知症に応じたコミュニケーション技術</li> </ul>
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	3		<p>(1) 記録における情報の共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護における記録の意義・目的、利用者の状態を踏まえた観察と記録</li> <li>介護に関する記録の種類</li> <li>個別援助計画書（訪問、通所、入所、福祉用具貸与等）</li> <li>ヒヤリハット報告書 ・ 5W1H</li> </ul> <p>(2) 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>報告の留意点 ・ 連絡の留意点 ・ 相談の留意点</li> </ul> <p>(3) コミュニケーションを促す環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>会議 ・ 情報共有の場</li> <li>役割の認識の場（利用者と頻回に接触する介護者に求められる観察眼） ・ ケアカンファレンスの重要性</li> </ul> <p>(演習) ペアになり、コミュニケーションをする。</p>
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等